

安全管理部の活動が2026年1月3日（土）の徳島新聞に掲載されました。

2026年1月3日（土）、池本部長の記事が徳島新聞の朝刊に掲載されました。この記事では、県内の皆様に、徳島大学病院における医療安全管理の役割について分かりやすく解説するとともに、特定機能病院におけるリスクマネジメントや医療の質の重要性を知っていただく良い機会となりました。

徳島新聞 令和8年1月3日（土）

健 康

安全性と質向上が使命



安全管理部は聞き慣れない部署かもしれませんが、内科や外科のように患者さんを直接治療することはないですが、「患者さんの安全を守り、病院全体の医療の質を高めること」を大きな使命としています。徳大病院は全国に88カ所ある特定機能病院の一つで、こうした病院は医療の安全を専門に担当する医師を配置しています。

私は元々、消化器・移植外科、肝胆膵外科、防く専門で、手術や検査、救急を含む外来・入院治療などに約30年間携わってきました。現在は長年の経験を生かし、医療現場を病院全体で進めていきます。

事故防止へ改善重ねる

特定機能病院は専門的で高度な医療を担い、手術室など外から見えない場所での治療することも多いため、「医療の透明性」、「患者さんへの十分な説明と同意」、「医療従事者自身が専門職として誠実に行動することが大切」です。医療従事者は患者さんにとって一番良い医療を提供し、病気を早く治すことが最大の目的です。病気の進行や検査結果が得られるように、患者さんご家族、関係者に寄り添う姿勢が常に求められます。

安全管理部は、徳大病院で治療を受ける全ての患者さんの元気を支え、医療の質と安全を守るために活動しています。お気づきのことがあればお声かけください。

安全管理部は、徳大病院で治療を受ける全ての患者さんの元気を支え、医療の質と安全を守るために活動しています。お気づきのことがあればお声かけください。

関連リンク：徳島大学病院ホームページ ニュース

『徳大病院 元気を支える医療「安全性と質向上が使命 事故防止へ改善重ねる」』

https://www.tokushima-hosp.jp/news/topic.html?topics_news_id=1806